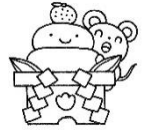




すみれ組だより 令和4年1月号



新年明けましておめでとうございます。年末年始のお休みの間、ご家族の皆さんでゆっくりと過ごす中で、改めてお子様の成長を感じることができたのではないのでしょうか。

これから寒さも本番ではありますが、吐く息の白さを感じたり、霜や氷に触れたり子どもたちにとっては新しい発見の連続です。積極的に戸外に出て、冬ならではの発見の喜びを分かち合いながら過ごしていきたいと思えます。12月には新たに1名女の子が加わり6名となったすみれ組。個性豊かな6名それぞれの気持ちに寄り添いながら、安心して園生活を送れるよう援助してまいります。今年度も残り3ヶ月、宜しくお願い致します。

すみれぐみ日記

○月▲日

今日のお散歩は初めて行く公園。散歩車に乗る子、保育者と手をつないで歩く子に分かれて出発！行きはA君が歩きます。途中立ち止まって、落ちていたイチョウの葉を手にとったり、停まっている車に近づいてみたり、自分のペースで発見を楽しみながら歩きました。公園に着くと滑り台に真っ先に登り始めたのはB君。滑り出しは慎重に、慣れてくると徐々にスピードアップ！自分で上手にスピードを調節していました。みんなが滑る様子をじっと見ていたCちゃん。脇を支えながら滑らせてあげるとご満悦の表情を見せてくれました。先に滑って下で待っていたD君と目が合うと二人で「うふふ♪」と笑い合っていました。



○月■日

今日もD君は登園して来るみんなを入り口でお出迎え。Eちゃんが登園すると笑顔で近づいてきてそっと頭をなでなで。パパ・ママたちにも手を振ってお見送りしてくれるD君です。朝のおやつ後はみんなでホールに出て幼児組さんのお餅つきを見学！何が出来るのだろうか？と真剣な眼差しで見つめる子、お餅つきよりも飾ってあるクリスマスツリーの方が気になる子など反応は様々です。お部屋に戻ってからはお土産にもらったポリ袋に入ったお餅をみんなで順番に触って温かさ、柔らかさを堪能！一番熱心に触っていたのはF君。ポリ袋の上から触るだけでは物足りなくなってきたのか「あけて！」と袋を引っ張っていました。自分の思いも少しずつ言葉で伝えられるようになってきています。

ウズギのススメ

寒くなってくると風邪を引かないようにとついつい厚着をさせてしまいませんか!? 動きが活発になってくる1歳頃の子にとっては、身体を動かしにくい、汗をかいてかえって体を冷やす、体温調節機能を養いにくいといったデメリットもあるのです。幼い頃から暑さや寒さに触れていくことで体温調節機能が育つと言われています。体温調節が上手に出来ないと、免疫力が下がる、熱がこもり過ぎるといったことが起こります。また子どもの体温は大人よりも高く、着る物も「大人より1枚少なく」を目安にすると良いと言われています。保育室の冬場の温度は20~23度に保たれており、半袖の肌着に長袖のTシャツや薄手のトレーナーで充分です。裏起毛の服や長袖の肌着は避けていただき、この冬も寒さに負けずに元気に過ごしましょう!

今月のわらい

- ・保育者との関わりを通して模倣をしたり、簡単な言葉のやり取りを楽しむ。
- ・冬の自然物に触れ、親しむ。

今月の歌

- ・ゆき
- ・コンコンクシャンのうた